

系 統	カーボン繊維積層ガラスマット混入不飽和ポリエステル樹脂成型板
特 長	<ol style="list-style-type: none">1) 表面に100μmのビニルエステル樹脂コーティングを施しており、卓越した耐酸性を有している。2) 表面が平滑で、水の流下能力が向上する。3) 600g/m²目付のカーボン繊維を短冊状に積層してあり、補強性（一方向性）がある。4) 隣接したカーボン繊維との間に透明部分を設けることによって、裏込め注入材の注入状況が確認できる。
用 途	下水道防食被覆用シートライニング材 「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル」 (平成14年12月) D ₂ 種適合
外 観 性 状	黒色、5mm幅の透明部分有り（裏面サンディング処理）
寸 法	厚さ4mm（標準）× 幅350mm、500mm、1000mm × 長さ 任意
比 重	1.45（測定値）
使 用 方 法	<ol style="list-style-type: none">1) 現地躯体形状に合わせて割付を決定し、墨出しする。2) PSファスナーの貼付位置を躯体およびPSシートに墨出しする。3) 割付にしたがって、PSシートを裁断する。4) PSシート中央部に500mmピッチで注入孔を削孔する。5) PSシートとPSシートの取合部周辺（目地部、出隅部、入隅部）は、PSシールを貼るので、サンドペーパー等により、目荒らし処理を行う。6) 躯体およびPSシートの墨出しした位置にWBシールを用いてPSファスナーを貼る。7) WBシールの硬化後、PSファスナーのコンクリート躯体側にWBシールを擦り付ける。8) PSファスナーに塗布したWBシールが硬化する前に、木槌等で叩きながら、所定の位置にPSシートを取り付ける。9) WBシールが硬化した後、WBグラウトGを注入する。
使用上の注意	<ol style="list-style-type: none">1) 施工面が曲面の場合、注入厚、シート厚を考慮して割付を行う。2) 目荒らし処理を行う場合、PSシール貼付箇所以外を損傷させないように、養生を施す。3) PSシートの取付時、木槌により打撃を与える際は、ゴム板等をあて、表面を傷つけない。4) 切断、削孔等の作業は、ヤード等の作業性の良い箇所で行い、電動工具を使用する際は、皮手袋、保護メガネを着用する。5) 樹脂使用の際は、ゴム手袋等の適正な保護具を着用し、火気等を近隣で扱わない。